

株式会社オーエックスエンジニアリング

(千葉県千葉市)

【概要】

車椅子製造事業者の多くが汎用品を海外で製造しているのに対し、材料加工から出荷まで一貫した国内生産体制を構築し、車椅子事業参入前にバイクレースで培った技術を応用して競技用車椅子を開発。

その競技用車椅子で蓄積した軽量アルミやカーボン素材などの材料の選定・加工技術などのノウハウを日常用車椅子にも取り入れることで、ユーザーの体型、筋力や操作技術、障害の種類や程度、使用環境に合わせた軽量・コンパクトで、高い機能性・操作性、デザイン性を兼ね備えた独創的な日常用車椅子を商品化している。

【特に顕著な功績・功労】

- ・ 販売当初より収集した 44,000 台、27,000 人分のデータを基に複数パターンの車両フレームを開発し、その他のタイヤ、ホイールやブレーキなどの主要部品についても複数種類から選択可能としている。加えてタイヤ色やフレーム色も自由に選択ができ、カラーバリエーションも豊富であり、ユーザーの好みに応じた組み合わせが自在である。
- ・ 日常用車椅子にも関わらず、軽量アルミやカーボン素材を使用することにより、車椅子にとって重要な重量を可能な限り抑え、スマートなフレーム前方形状を採用するなど高いデザイン性を追求。
- ・ ユーザーに、外出する喜びを提供することで、心のバリアフリー化にも貢献している。
- ・ なお、競技用車椅子（テニス、陸上、バスケ等）の分野では国内有数のシェアを獲得するトップメーカーとなっている。

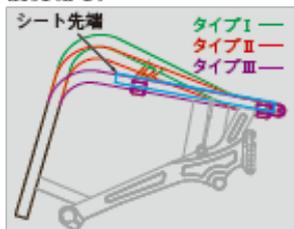
(参考) 競技用車椅子

- ・ 過去 7 回の夏季・冬季パラリンピック競技大会で、106 個のメダルを獲得。
- ・ 車椅子競技大会（テニス、陸上、バスケ等）に年間 20 回程度のボランティア参加をして、参加する選手のため車両メンテナンスのサポートを実施。



フレーム、ホイールパターン例

前方形状



・タイプⅠ

メインフレームの前方形状をシート先端より高く設定しています。プッシュアップ時に摺む「グリップ」としてお役立ていただけます。

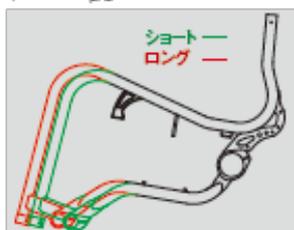
・タイプⅡ (NEO/NEOplusの場合「アップ」)

メインフレームの前方形状をシート先端より高く設定しています。タイプⅠフレームとタイプⅢフレームの中間です。

・タイプⅢ (NEO/NEOplusの場合「スムーズ」)

メインフレームの前方形状を座面と平行でほぼ同じ高さに設定しています。移乗のときにメインフレームが邪魔になりにくい形状です。

フレーム長



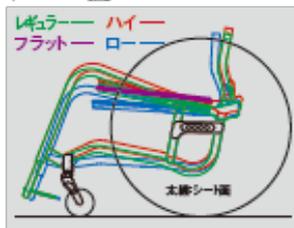
・ショート

メインフレーム前方を短めに設定しています。ホイールベースが短く、クイックな乗り心地です。狭い場所でターンがしやすい形状です。

・ロング

メインフレーム前方を長めに設定しています。ホイールベースが長く、安定した乗り心地です。身長が高い方にお勧めです。

フレーム高



・レギュラー (NEO/NEOplusの場合「ミディアム」)

オーエックスの車いすの中では標準的なフレームです。適度なシート角度^{※1}が身体を安定させます。機動力に優れたこぎやすいフレーム形状です。

・ハイ

身長が高い方や、高い目線で生活したい方、高い机などでのお仕事にオススメなフレームです。

・フラット

レギュラーフレームに比べ、シート角度^{※1}を小さく設定しています。大腿部に体重をかけやすく、体圧分散に効果的^{※2}なフレーム形状です。身体を前にずらしやすく、移乗しやすいフレームです。

・ロー

「レギュラー」に比べ座面を低く設定した低床タイプのフレームです。足が地面にとどきやすく、足こぎに便利です。

※1 シート角度:水平面に対するシート面の角度

※2 お体に合ったクッションや車いすの調整が必要です。

⑨ ホイール



競技用車椅子使用例

